

令和2年度 美祢市人権教育ふれあい講座・リーダー講座



# 共に学び！共に生きる！



～一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向けて～

## 【第1講座を開催して】

9月15日（火）に、美祢市民会館大ホールで、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて、第1講座を開催しました。

『子どもの問題』をテーマに、山口大学教育学部 教授 霜川 正幸（しもかわ まさゆき）先生から、「子どもたちの日常生活に見える人権と私たちにできること」と題して、様々な事例とともに具体的なお話を聞くことができました。

子どもたちの心を見るときに、関係性で見ること・捉えることが大切であり、「子どもたちの日常生活に見える攻撃の構図」として、「他人が他人を攻撃する」「他人が自分を攻撃する」「自分が他人を攻撃する」「自分が自分を攻撃する」の4つの構図について、それぞれ、大切なことや私たちにできること・すべきこと等を分かりやすく教えていただきました。また、子どもたちに豊かな体験をさせ、自尊感情や自己肯定感を養うために、「生活体験」「自然体験」「我慢体験」「内省体験」「感動体験」の「5つの体験」をさせることが大切であることも教えていただきました。100名を超える参加者は、霜川先生から「子どもの問題」について様々なことを学ぶことができました。



## 【受講者の主な感想】

- 子どもの問題や課題の解決には、人間関係が必要であること、よい点を伸ばしてやることの大切さを改めて感じました。
- 自分の身体は自分で守る。そのスキルをつけさせることの重要性を学びました。無知であることの怖さ、知識をもたせることの必要性等を考えさせられました。
- 4つの攻撃の構図の話では、日頃の子どもの具体的な姿が頭に浮かび、とても心に残る言葉が多かったです。子どもの心を育てることを大切に、子どものよいところを評価し、いつも口に出して伝えられる大人でありたいと思いました。
- 内省をさせることが他者意識を育てるという点が心に残りました。5つの体験を子どもにさせることで、自尊感情を育てることにつながられることが参考になりました。
- 5つの体験をさせること、自分のことは自分で守ることが印象に残っています。子どもたちとコミュニケーションをとりながら、心を育てる教育を行っていきたいです。
- 人を援助する専門職として、人を『ストレングス視点』で捉えることが改めて参考になりました。『人をMAX視点で見る』大切さを学びました。
- 現代の子どもの抱えている問題や傾向、子どもに関わる大人として知っておくべきことを知ることができました。時代の変化とともに自分の考えもアップデートしていかなければならないと感じました。